



タイパで失われるものとは？



北摂三田高校
人間科学類型
石井理子

序論

①研究テーマを取り巻く現状
近年、「タイパ」という言葉が浸透しつつある。「タイパ」は「あることにかけた時間から得られる見返りや利益。時間効率。時間帯効果。なるべく時間をなるべく時間を掛けずに、なるべく多くの見返りを得たいという現代的な発想がある(三省堂現代国語辞典より引用)」とされている。『今年の新語 2022』では大賞をとっている。

②リサーチクエスションの内容
「タイパ」の代表例ともいえる倍速視聴は北三生にはどれくらい広まっているのか。倍速で見ることによる不利益はあるのか。

先行研究と仮説

①先行研究

・長濱 澄・森田裕介、早稲田大学大学院人間科学研究科・早稲田大学人間科学学術院
1倍速, 1.5 倍速, 2倍速の提示速度の異なる映像コンテンツ3種類(映像コンテンツの提示時間は, 等倍速 で9分 12 秒, 1.5 倍速で6分 11 秒, 2倍速で4分 42 秒)
調査対象: 大学生 75 名
→学習効果に影響を与えないということが明らかになった

・明治学院大学心理学部白金心理学会
1倍速 1.5 倍速, 2.0 倍速に設定。等倍速で 4 分 30 秒の動画を使用
調査対象: 視力と聴力に問題のない大学生 24 名
→再生速度の主効果, および交互作用は認められなかった

②研究に取り組む意義

どちらの研究も10分以下、5分以下と実際の授業時間にはほど遠い長さであり、揭示時間をより長くした場合にもこのような結果を得られるのかは分からないため。

③仮説

揭示時間が長くなればなるほど学習効果は低くなるのではないかと。

仮説の根拠／研究手法・結果考察 ①

【研究方法】

北摂三田高校2年生240名に対し、Google フォームにてアンケートを行った。
回答者は160名であった。

- ・「普段倍速視聴をしますか」という問いに対して、56.3%が「はい」、43.8%が「いいえ」
- ・倍速している人のうち「1.5 倍速」「1.25 倍速」「2 倍速」の順であった。
- ・媒体としては YouTube が一番多く、その中でも勉強系の動画を見る人が 42.6%と一番多かった。
- ・「学校での授業を倍速視聴したいと思ったことがあるか」という問いに対して、「時間を有効的に使いたいから」「一度しか聞けないため」
- ・「一日に平均してどれくらい動画を視聴していますか」
30 分以上 1 時間未満 2 時間以上 3 時間未満 30 分未満 3 時間以上の順が多かった。

仮説の根拠／研究手法・結果考察 ②

2年生の文系の生徒を対象に実験を行った。

【動画・問題について】

- ・20分の地理の授業動画を1倍速、1.5倍速、2倍速に編集し、クラスごと(1組、2組、5・6組)に視聴してもらった。
- ・どのクラスも一度授業を受けた内容である。
- ・問題は8題作成した。
- ・Google フォームに送信した。

【研究結果・考察】

- ・1組は動画視聴時間が20分という長さなので視聴に対し抵抗感があつたのではないかと。
- ・2組と5・6組では平均点が2組のほうが高く、2倍速のほうが理解しにくかつたのではないかと。



	1組	2組	3組
有効回答者数	0名	1名	5名
平均点	0点	6点	5.4点

仮説の根拠／研究手法・結果考察 ③

前回の動画視聴時間が長すぎて回答者が少なかったことを踏まえて今回の実験では動画の時間を短くすることにした。

【動画・問題について】

- ・10分の地理の授業動画を1倍速、1.5倍速、2倍速に編集し、クラスごとに視聴してもらった。
- ・どのクラスも一度授業を受けた内容である。
- ・Google フォームに送信した。

- ・問題は4題作成した。
- ・4 択の記号問題にした。

【研究結果・考察】

前回より回答者数が少なく調べていくことができなかった。



【参考文献】

日本教育工学会論文誌 40(4), 291-300, 2017 映像コンテンツの高速提示による学習効果の分析 長濱 澄・森田裕介 早稲田大学大学院人間科学研究科・早稲田大学人間科学学術院
オンデマンド授業動画視聴における実態調査と早送り速度が学習効果に与える影響についての実験

結論・展望

【結論】

倍速視聴する人は半数以上いたことが分かった。
1回目の実験では等倍速で 20 分程度、2 回目での実験では等倍速で 10 分程度の動画であったが、回答者の数が少なかったことから5分以上の動画を見る人は少ないということが分かった。
→これもタイパの一種ではないかと考えられる。
速度の違いと得点率の間には因果関係が見つからなかった。

【展望】

もっと時間がかからない(2~3分程度の)動画を用いて実験を進めていきたい…が、映像の提示時間を長くしても、先行研究と同じ結果が得られるのかを元々調べるつもりであったので、いい塩梅を探っていく必要がある。